

## 骨子案に対する各委員からの御意見と御意見に対する考え方について

### ① 「滋賀の教育で大切にしたい視点」の表し方について

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
1	<p>《滋賀らしさ》を強調したいというのはわかるのですが、「《滋賀らしさ》を大切に（基礎に）、世界で活躍できる人材づくり」のようにした方が良いのかなと思いました。</p> <p>何も実際世界に出なくても滋賀にも世界的企業はたくさんありますし、滋賀に閉じこもらないイメージにした方が良いかなと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、世界で活躍できる人づくりを目指す旨記述しました。</li> </ul>
2	<p>滋賀ならではの学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい自然環境（山、里、湖 など）</li> <li>・豊かな歴史（文化、文化財、民俗、風習）</li> </ul> <p>~~~~~</p> <p>⇒祭や郷土食なども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の特色（企業立地県、交通網、地域力）</li> </ul> <p>【表現は工夫していただき、滋賀の魅力を再発見したいという思いになれるとよいと思います。】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、学ぶべき自然や歴史の中に、祭、郷土食を加えました。</li> <li>現代の特色については、産業資源を生かした学びとして記述しました。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県には、守るべき琵琶湖や文化遺産、先人たちが育んできた精神があります。これらの『滋賀ならではの』の宝を守り受け継ぐ使命が、「滋賀の教育」にあると考えます。滋賀の教育にSDGsの視点をしっかり取り入れて、子供、若者を含む滋賀県民の未来に対する行動を促していくことが重要であると考えます。《滋賀ならではの学び》は、受け身の学びではなく、行動につながる学び（ESD）をイメージします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、滋賀ならではの学びを通じて、身近なところから主体的に地域の課題を解決する行動力を育むESDの考え方を記述しました。また、SDGsの視点につきましては、政策・施策・事業の検討にあたって活用する旨を記述しました。</li> </ul>

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
	<p>SDGs の 17 の目標の中には、目標 14 :【海の豊かさを守ろう】のみならず、滋賀の教育がめざす視点はいくつもあると思います。目標 17 :【パートナーシップで目標を達成しよう】は、サブテーマにある『共に生きる』重要な視点であると考えます。</p> <p>【滋賀の教育で大切にしたい視点】の中に、『SDGs の視点を滋賀の教育に』などの『SDGs』の文言（キーワード）を入れることを意見させていただきます。</p>	
4	<p>●地域、企業の支えによる学びについて</p> <p>滋賀の子どもたちの特徴は地域行事への参加率が高いことであり、地域に依存しているだけではありません。したがって、上記の表記には違和感を感じます。「地域と共に学ぶ」とか「地域に教えられ、地域に還していく学び」とかいった表現にしていきたいと思います。</p> <p>「企業の支えによる」だけをとると、公教育がゆがめられてしまうような印象を受けますので、代案は示せませんが、変える（またはやめる）方がよいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、地域、企業とは、現行計画と同様に連携・協働の関係とする旨記述します。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>人生 100 年を見通した中での「家庭教育」「学校教育」「社会教育」の役割とつながりの明確化</li> <li>滋賀ならではの学びの充実</li> </ul> <p>*【滋賀の教育で大切にしたい視点】と【サブテーマ】との結びつきがよくわからない。まず大切にしなければならないのは、人生 100 年の中での「学校教育」「家庭教育」「社会教育」の役割とつながりの明確化では？それとともに、「滋賀らしさ」をあげるならば理解はできる。ただ、この部分は、前回の話では、図のように【柱 4】として位置づけるということではなかったのか？</p> <p>*【柱 4】を「県民の心に滋賀への愛着と誇りを育む」とし、そのための要素として</p> <p>○滋賀ならではの学び：</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘の「家庭教育」「学校教育」「社会教育」のつながりについては、学校教育は社会での学びの基礎であり、家庭教育は子どもが生活習慣を身に付ける場、社会教育は個人の要望や社会の要請によるものである旨記述しました。それぞれの役割については、今後の施策構築の中で精査していく必要があります。</li> <li>【滋賀の教育で大切にしたい視点】と【サブテーマ】は直接結びつくものとはせず、【基本目標】、【サブテーマ】の達成に向けて、施策を推進していく上で、すべての柱に共通のかかわりを持つことを表すために柱の上に位置付けたものですので、ご理解をいただければと思</li> </ul>

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖をはじめとする豊かな自然、歴史・文化資源を生かした学び</li> <li>○近江の心： <ul style="list-style-type: none"> <li>・人や自然との調和を尊んできた滋賀の人々が育み、拠り所としてきた精神</li> </ul> </li> <li>○ふるさと学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における「ふるさと学習」の推進</li> <li>・地域における「ふるさと学習」の推進</li> </ul> </li> </ul> <p>を位置づけたらいいのではないか。</p>	<p>います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回審議会におきましては、「柱」という御意見も含め、いろいろな御意見がありましたが、意識すべき点であるという共通の認識のもと、それをどう表していくかを考えていくということでした。そうした中で御提案させていただいたのが【滋賀の教育で大切にしたい視点】でございまして、具体的な施策がぶら下がる他の柱とは異なる位置付けとします。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『近江の心』を「人や自然との調和を尊んできた滋賀の人々が育み、拠り所としてきた精神」としてありますが、「滋賀で育まれた人や自然との調和」とは具体的にはどのようなものなのでしょうか。福祉マインドや環境保全の活動を指しているならそれを記載したほうがよいと思います。また、県民が「拠り所としてきた」精神があるのでしょうか。このような表現は曖昧で、多様な心を一つにまとめ上げようとする意図があるのではないかという懸念を招きかねません。</li> <li>・そもそも、「滋賀らしさ」を「柱立て」の上位にしっかりと明示し、「滋賀らしさ」という共通の括りのもとで、」の意図がよくつかめません。滋賀で育ち、生活する人々に、日本のどこを訪れても、世界のどの街に住むことになっても、必要となる力を滋賀での教育が提供できればよいのであって、そのために滋賀県として何ができるかでしょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえ、現代の生活にも息づくヨシ群落保全活動や、家庭・地域による福祉の実践を記述しました。</li> </ul>

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
7	<p>滋賀県は、全国屈指のもの作り県と考えますと、企業（農水林含む）も支えのひとつとして、具体的に教育を担えるよう、インターンシップなどを拡大充実して仕組みの中に当てはめていく必要を感じます。</p>	<p>・御意見を踏まえ、企業、農林水産業も含めた連携・協働について記述しました。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料のとおりで良いと思います。</li> <li>・近江の心として近江商人の三方よしや障害をもつ方々を中心に据え、障害児教育に尽力された先人の方々の心もちを大切にしていきたいと感じます。誰もが学び続けられることに通じていると思います。</li> </ul>	<p>・御意見を踏まえ、現代の生活にも息づく家庭・地域による福祉の実践を記述しました。</p>

② 「基本計画策定にあたっての基本的な考え方」の表し方について

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
9	<p>「・特に、社会に出てからも「学び続ける」ことが大切であるため、次期計画ではこの点にしっかり焦点を当てたものとする。」の部分、</p> <p>「・特に、社会に出てからも「学び続ける」ことが大切であるため、次期計画では学校教育と同様に社会に出てからの「学び」についても焦点を当てる」くらいの表現の方がいいのではないのでしょうか。</p>	<p>・御意見を踏まえ、社会に出てからも、学校教育と同様に、社会教育に出てからの学びに焦点が当てていく必要がある旨記述しました。</p>
10	<p>冒頭、「人生100年を見据え、生涯にわたり豊かな人生を送るためには、・・・」となっており、個人の豊かな生き方に視点が置かれていますが、基本目標の「未来を拓く・・・」を反映するためには、「未来の社会づくりに貢献する人材の育成」という視点も盛り込んだ方がよいのではないですか？</p>	<p>・上位計画である滋賀県基本構想の案文の中で、個人が変化・未知の時代をたくましく生き抜く力を身に付けることを目指していることから、原案のままいたします。</p>
11	<p>・【基本目標：未来を拓く心豊かでたくましい人づくり】は、持続可能な社会（滋賀）の創り手を育成する大変重要な目標であると考えます。特に【サブテーマ：人生100年を見据えた「共に生きる」滋賀の教育】は、次期基本計画の大きな方向性を示すものであり、このサブテーマについての基本的な考え方をより明確に表記する必要があると考えます。このサブテーマを含む基本目標は、滋賀の教育にふさわしい滋賀ならではのビジョンでなければなりません。そのことを、【基本計画策定にあたっての基本的な考え方】の中で強調する必要があると思います。</p> <p>・人生100年を見据えた滋賀の教育は、持続可能な社会（100年後の滋賀）の創り手を育成することが、最終ゴールになると考えます。知事さんも強調されているように、滋賀県のSDGs達成にむけた取組のキーワードは、「パートナーシップ」だと宣言されています。『共に生きる』滋賀の教育の意味を、「…人々が助け合いながら生きていくことが大切…」という文言では言い表せていないと思います。</p>	<p>・御指摘のとおり、SDGs達成に向けたパートナーシップは、多様な主体が分野を超えてつながることを目指したものです。本教育振興基本計画では、これまでに御議論いただきましたサブテーマにおける「共に生きる」滋賀の教育により、一人一人が「相手がいる」「つながる」考えを身に付けることで、それぞれの主体の中でパートナーシップを築いていく人材が育まれるものと考えます。</p>

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人生 100 年を見据えた、持続可能な滋賀の実現には、県民、企業、NPO、大学、そして学校などの多様な主体が分野を超えて SDGs でつながり、様々なアプローチで行動していくことこそが、『共に生きる』滋賀の教育のめざすものであることを明記することが必要だと考えます。</li> <li>• 4つ目の・の表し方について <ul style="list-style-type: none"> <li>「・柱立てについて、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を、学校と社会が共有するという視点で、第2期計画と同じく「学校教育」→「生涯教育」の流れで構成する。」</li> <li>この基本的な考え方が、しっかりと以下の3つの柱に係っていく骨子になることをイメージします。</li> </ul> </li> </ul>	
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 文目 <ul style="list-style-type: none"> <li>「……大切。」で終わるのは変。せめて「大切である。」にしてほしいと思います。</li> </ul> </li> <li>• 2 文目と 3 文目 <ul style="list-style-type: none"> <li>そのためには、学校教育における「学び」だけではなく、社会に出てから「学び続ける」ことが長い人生では重要な要素となる。</li> <li>したがって、次期計画ではこの点にしっかり焦点を当てていくこととする。</li> </ul> </li> <li>• 4 文目 <ul style="list-style-type: none"> <li>その立場を明確に示すため、人生 100 年時代の継続的な学びの推進をまず位置づけ、そのための学校教育はどうあるべきか、家庭教育は、社会教育は、……という柱立てにする。</li> <li>* 学校教育から始めるのではなく、独自性を出したいところです。</li> <li>* 「生まれてから……の過程がわかりやすいよう」にするなら、まず家庭教育から書いていくべきです。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 御指摘を踏まえて、学校教育、家庭教育、社会教育の関係を記述します。</li> <li>• 柱立てについては、基礎となる学校教育と生涯を通じた生涯学習をそれぞれ柱とするほか、子どもの学びの環境づくりにおける地域との連携・協働の必要性を重視して柱を立て素案を作成しました。</li> </ul>

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
13	<p>「人生100年を見据え」、「学びと共生」を強調する「基本的な考え方」に共感します。他方、「学校教育」⇒「生涯学習」の表現は狭い捉え方を象徴しているように思えます。</p> <p>「学び」は胎児期から始まっています。現行の学校教育以前の段階からの学びと共生を支援する内容を盛り込む必要があります。県下自治体では、保育所と幼稚園を所轄する部局が統合されているところもあります。学童保育や児童生徒の「居場所」の問題など、次期教育振興基本計画には福祉との協調をしっかりと“見据える”必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、福祉との連携を記述します。</li> </ul>
14	<p>人生100年を見据え、自分の意志で働き続けられる、自律した社会に貢献できる人作りを目指して行きたいです。生涯学習から何をアウトプットしたいのかを明確にできればと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼少期も含め生涯を通じた学びにより、基本目標である「未来を拓く心豊かであるたくましい人づくり」を目指したいと考えております。</li> </ul>

③ 「柱1～柱3」の表し方について

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
15	<p><b>【柱1】</b> 子どものたくましく共に生きる力を育む (第2期基本計画の柱1に『共に』を加える。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領のキーワードである「何ができるようになるのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」の視点が、柱1で強調されることを願います。(『何』…未来を拓くために必要な資質能力)</li> <li>・主体的対話的で深い学びをめざす、滋賀ならではのESD(課題解決学習)の視点が示されることを願います。</li> </ul> <p><b>【柱2】</b> 子どもの共に生きる力を育む環境をつくる</p> <p><b>【柱3】</b> 「サステイナブル滋賀」の実現に向けた生涯にわたる学習を振興する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人生100年を見据えた共生社会の実現」は、「サステイナブル滋賀の実現」に大きく係るとい趣旨を柱3で示していく。 (第2期基本計画の柱1から3を基に考えました。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえ、柱3に学びの成果を社会の持続的発展に生かす意記述します。</li> <li>・柱1および柱2につきましては、人生100年を見据え、「共に生きる力」が大切であるということでサブテーマに「共に生きる力」という言葉をいれるというのが審議会におけるご議論であり、「共に」という視点は重要であると認識しておりますが、基本目標として「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」があったうえでのサブテーマでございますので、それぞれの柱にはお示した案のような表現にとどめ、それぞれの柱の中を検討していく際にいただいたご意見の視点を参考にさせていただきたいと考えております。</li> </ul>
16	<p>平面的な柱ではなく、人生100年時代の継続的な学びを太いパイプとして表し、その中に学校教育・家庭教育・社会教育がDNAを模式的に表す図のように三すくみになっている状態を表現できないものでしょうか。文章表現をするなら、その構造図から矢印を引っ張ってきて説明を加えるといったイメージを持っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえ、3本の柱が三角形を構成するイメージのもと記述します。</li> </ul>
17	<p><b>【柱2】</b>の「多様な主体」という表現が、具体的に何を意味するのかイメージするのが難しく、メッセージが伝わりにくいと思います。 もう少しわかりやすい言い方にならないでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえ、社会全体で支え合う旨修正します。</li> </ul>



番号	御意見内容	御意見に対する考え方
18	<p>*【柱3】に関して、第2期を参考に、「共に生きる」を意識して要素を考えると、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人生100年を見据えた生涯学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育体制等の整備充実</li> <li>・学習情報提供・学習相談の充実</li> <li>・学びの成果を生かす仕組みづくり</li> </ul> </li> <li>○社会的課題に対応した学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した社会づくり</li> <li>・人権の尊重と共生の社会づくり</li> <li>・地域課題解決学習の推進（重要）</li> </ul> </li> <li>○健康づくりと生涯スポーツの振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが親しめるスポーツ活動の推進</li> <li>・スポーツ環境の整備・充実</li> </ul> </li> <li>○魅力ある文化の振興と歴史文化に親しむ機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術や文化財の持つ魅力の発信</li> <li>・文化財の保存・継承、活用の促進</li> <li>・地域における「ふるさと学習」の推進（重要）</li> </ul> </li> <li>○職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進（重要） <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等、高等教育機関と連携した社会人学び直しの推進</li> <li>・女性活躍推進のための学びの推進</li> </ul> </li> <li>○高齢者の生涯学習の推進（重要） <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいをつくる学習の推進</li> <li>・つながりをつくる学習の推進</li> <li>・社会参加を促す学習の推進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を尊重し、今後具体的な施策を整理してまいります。</li> </ul>

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I C Tの利活用についての学習の推進</li> </ul> <p>○障害者の生涯学習の推進（重要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者が参加できる学習機会の充実</li> <li>・ 障害者スポーツの推進</li> <li>・ 障害者の文化芸術活動の推進</li> </ul> <p>等が、最低限入っている必要があるのでは。</p> <p>*【柱2】に関して、特に押さえるべきキーワードのみをあげると、</p> <p>○魅力と活力ある学校をつくる</p> <p>○教職員の教育力を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者や地域住民との良好な関係を構築するためのコミュニケーション能力</li> <li>・ 地域との調整なそ多様なマネジメント能力</li> </ul> <p>○安全・安心な学校・地域をつくる</p> <p>○子育て環境支援の充実を図る</p> <p>○社会全体で子どもを育てる環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティスクールの推進</li> <li>・ 地域学校協働活動の推進</li> <li>・ 学校支援ボランティアの充実</li> </ul> <p>*具体的な内容は、基本構想との整合性も考慮すべき</p>	

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
19	<p>【柱3】「人生100年誰もが学び続けられる環境づくり」を最前面に掲げるべきだと思います。そのための条件整備が何かを明らかにし、実現していくことこそが、教育行政とこれを支える一般行政に求められます。そして、条件整備の重要な側面が【柱2】「多様な主体による支え合いで子どもたちを育む地域づくり」であり、【柱1】「子どもたち一人ひとりの個性をのばし、学ぶ力、生きる力を育む」は、【柱3】【柱2】の結果として期待されるものです。</p> <p>一人ひとりの人間の個性、学ぶ力、生きる力は子ども時代から多様であって、主体的に獲得していくものです。行政サイドがその施策によって左右できる、すべきと考えていると受けとられかねないような柱立てにすべきではありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柱立てについては、生涯の学びの基礎となる学校教育は重要な要素であり、加えて、学校教育と同様に社会に出てからの学びにも焦点を当てていく必要があるとの認識のもと、素案を作成しました。</li> <li>一人ひとりの個性は大切にすると御指摘は非常に重要な御指摘と受け止めており、基本的な考え方にも明記したうえで具体の施策の検討を進めてまいります。</li> </ul>
20	<p>「柱3」ですが、「・・・学び続けられる環境づくり」を、「・・・学び続けられることと、その成果を活かしていける環境づくり」にするのが、いいかなと思います。</p> <p>これからの課題満載の時代をみんなの知恵と力で乗り越え切り開くには、学ぶだけでなく、それをまちづくりや社会の改革に寄与していくことが求められているという現状があるからです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、柱3に学びの成果を社会の持続的発展に生かす意を加えました。</li> </ul>
21	<p>各はしら（POST）に寄り添って、何をアウトプットしたいのかを、匂わすことができればと考えます。</p> <p>・・・づくりをして、何に繋がるかと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの柱が基本目標である「未来を拓くたくましい人づくり」につながる構成をと考えております。</li> </ul>

番号	御意見内容	御意見に対する考え方
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱立てについては、年を重ねる経過の中でとらえた方が県民の方には分かりやすいと思いました。</li> <li>・柱1のみ文末が「〇〇づくり」ではなく、動詞で終わっているので、「学校づくり」にするのが良いか、「…育む学校教育」と入れればと思いました。</li> <li>・生涯学習の部分を長くしていくのであれば、柱2は「子ども達を育む」と限定せず、「多様な主体による支え合いを育む地域づくり」ではと思いました。地域の大人と子どもと共に学び支え合うという観点からです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御意見を踏まえ、子どもから大人へと成長に応じた流れで柱立てを構成します。</li> <li>・御意見を踏まえ、すべての柱を動詞で終わる形で整理をいたしました。</li> <li>・学びの中でも基礎となる部分と生涯にわたる学びに大きく二分しており、その基礎となる学びを地域と連携して支えることを重視して柱2をまとめたものです。</li> </ul>

# 次期教育振興基本計画 骨子案

別添資料

【基本目標】

未来を拓く心豊かでたくましい人づくり

【サブテーマ】

～人生100年を見据えた「共に生きる」滋賀の教育～

【滋賀の教育で大切にしたい視点】

《滋賀らしさ》

滋賀ならではの学び:

- ・琵琶湖をはじめとする豊かな自然、歴史・文化資源を生かした学び
- ・地域、企業の支えによる学び

目に見える  
滋賀の特性

+

近江の心:

- ・人や自然との調和を尊んできた滋賀の人々が育み、拠り所としてきた精神

目に見えない  
滋賀の特性

【基本計画策定にあたっての基本的な考え方】

- ・人生100年を見据え、生涯にわたり豊かな人生を送るためには、生涯を通じて多くのことを学び、人々が助け合いながら生きていくことが大切。
- ・そのためには、学校教育における「学び」だけではなく、社会に出てからの「学び」についても、長い人生では重要な要素となる。
- ・特に、社会に出てからも「学び続ける」ことが大切であるため、次期計画ではこの点にしっかり焦点を当てたものとする。
- ・柱立てについては、生まれてから生涯を終えるまでの過程がわかりやすいよう、第2期計画と同じく「学校教育」→「生涯学習」の流れで構成する。

【柱1】

子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、  
学ぶ力、生きる力を育む

【柱2】

多様な主体による支え合いで子ども  
たちを育む地域づくり

【柱3】

人生100年誰もが学び続けられる環  
境づくり